

苫小牧アイスホッケー史年表

1924年	苦工、王子製紙を中心に同好者が増え、佐羽内沼などでスケートを楽しむ
1931年	王子製紙アイスホッケー部創部
1932年	第3回全日本選手権 王子製紙初出場・初優勝
1937年	町営リンク完成（現室内ゲートボール場）
1939年	岩倉組にアイスホッケー部創部
1957年	第25回全日本選手権 王子製紙・岩倉組優勝分ける（金・銀半分のメダル）
1958年	王子球場跡に本市初のパイピングリンク王子スケートセンター完成
1966年	日本リーグ誕生
1970年	ハイランドスケートセンター屋内スケート場完成
1977年	女子チーム苫小牧ペリグリン発足
1979年	第2回全日本女子選手権 ペリグリン初V ときわスケートセンターオープン、岩倉組アイスホッケー部廃部
1987年	苫小牧アイスホッケー連盟発足
1996年	白鳥アリーナオープン
2000年	沼ノ端スケートセンターオープン
2004年	日本リーグ休止。アジアリーグに一本化
2006年	第1回氷上の甲子園 駒大苫小牧高校優勝
2011年	ハイランドスケートセンター屋内スケート場閉鎖・アイスホッケーの殿堂誘致
2012年	王子スケートセンター閉鎖
2013年	アジアリーグ10周年（2012-2013）
2014年	新ときわスケートセンター完成予定

2月以降の主な試合など

2月

～3日	全国中学校アイスホッケー大会
～12日	北海道高校新人大会
2日～10日	道新杯小学生アイスホッケー大会
7日～10日	ソチ冬季五輪アイスホッケー女子最終予選 [スロバキア]
9日～19日	道南地区中学生新人アイスホッケー大会
16日～24日	道新杯女子アイスホッケー大会
22日～25日	アジアリーグ

3月

3日	苫小牧アイスホッケーデー
9日～12日	アジアリーグ（プレイオフ・セミファイナル）※
15日～17日	全日本オールドタイマー
23日～25日	アジアリーグ（プレイオフ・ファイナル）※
23日～	国際少年アイスホッケー中学生交流試合 [カナダ]

※最終順位確定後に日程が決定

第2ピリオド
市では、アイスホッケーの裾野拡大を目的として、各種教室を開催しています。スケートエンジョイスクールは小さな子

ども向けから、初心者の大人の方が基礎を学べる教室まで開催されています。また、スポーツマスター制度では、引木孝夫氏（H7～H12）、本間貞樹氏（H12～）によって、選手・監督として活躍した経験を生かし、アイスホッケー教室が開講され、学んだ選手は、これまでに総計680人以上となっています。

第3ピリオド
これまでもそうだったように、苫小牧におけるアイスホッケーは、氷都の誇りであり、たくましさの象徴ともいえるスポーツです。何よりも、先人たちの思いを引き継ぎ、情熱を持ってホッケーに取り組み多くの人がこのまちにいます。育てる人、支える人、伝える人、進化する人。そんな人たちの思いを知るとともに、改めてアイスホッケーの魅力に触れてみませんか？

強さとなっています。各世代ごとにトップの選手がいるということが、苫小牧の特徴であり層の厚さとなっています。

中学生から世界と戦い、交流することを目指す国際アイスホッケー中学生交流事業も毎年開催され、市内選抜中学生とカナダの中学生が競い合っています。今年度は苫小牧の中学選抜17人が3月23日からカナダのキッチナー市で戦います。市内の屋内リンクは白鳥アリーナ、沼ノ端スケートセンター、2014年に建替えが予定されているときわスケートセンターがあり、東西バランスのとれた施設配置がされています。特に白鳥アリーナは、王子イーグルスのホームリンクであり、アイスホッケーのナショナルトレ

ーニングセンター（トップレベル競技者用トレーニング施設）の指定を受けています。また、新たに日本初の「アイスホッケーの殿堂」の設置を進めており、日本のアイスホッケー界において顕著な功績を残した人物を讃え、後世に伝えることで、これからのホッケー発展につなげることを目的としています。

アイスホッケー表1

区分	チーム数	人数
小学校	5	145
中学校	14	101
高校	5	94
大学・高専	2	36
一般（A～D級）	67	1,135
女子	4	87
合計	97	1,598

23年度 苫小牧アイスホッケー連盟登録

でも向けから、初心者の大人の方が基礎を学べる教室まで開催されています。また、スポーツマスター制度では、引木孝夫氏（H7～H12）、本間貞樹氏（H12～）によって、選手・監督として活躍した経験を生かし、アイスホッケー教室が開講され、学んだ選手は、これまでに総計680人以上となっています。

トレーニングセンター（トップレベル競技者用トレーニング施設）の指定を受けています。また、新たに日本初の「アイスホッケーの殿堂」の設置を進めており、日本のアイスホッケー界において顕著な功績を残した人物を讃え、後世に伝えることで、これからのホッケー発展につなげることを目的としています。

▼ソチ五輪女子最終予選壮行試合 日本代表vs中国代表 H25.1.6



▼NHK杯争奪中学生アイスホッケー大会 H24.9.29



▲アジアリーグ 王子イーグルス vs 東北フリープレイズ H24.9.8



▲全道小学生アイスホッケー選手権大会 H25.1.14

～2012-2013 Ice hockey match in tomakomai～